

### ワークショップ

美術館ボランティア多色摺ワークショップ「散草をつくろう」

日時：5月26日(日) 10:30-12:00、13:00-15:30

場所：1階エントランス／参加無料

立寄りワークショップ「仏像の衣はどうなっている？」

日時：6月1日(土) 10:30-12:00、14:00-17:00

場所：7階ミュージアムショップ前／参加無料

指導：河本雅史(文化財修復家)

10メートルを超える布を使い、如來形と菩薩形の着衣を実演します。ご希望の方には着付けをいたします。

親子ワークショップ「すずめ、仏像半島たんけん隊！」(事前申込制)

日時：6月1日(土) 14:00より

対象：小学生とその保護者(2名1組) 12組

場所：8階展示室入口に集合／参加無料

グループごとに展示室を探索し、仏像の種類やポーズの意味などを考えます。

### 【往復はがきによる申込方法】

往復はがきには郵便番号、住所、2人分の氏名、お子さんの学年、当日連絡可能な連絡先を明記の上、下記までお申し込みください。(1人1通のお申込まで、応募多数の場合は抽選となります。) ※申込締切5月22日(水)必着  
〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8 千葉市美術館 仏像半島たんけん隊 係

### 市民美術講座「門前の館長、仏像を語る」

日時：5月25日(土) 14:00より(13:30開場)

場所：11階講堂／先着150名／聴講無料

講師：河合正朝(千葉市美術館館長)

### ギャラリートーク

担当学芸員》4月17日(水) 14:00より

ボランティアスタッフ》会期中の毎週水曜日 14:00より(4/17を除く)

※水曜日以外の平日 14:00にも開催することがあります。

### バスツアー

東京発もご用意！詳しくはクラブツーリズムへ。

<http://www.club-t.com/> 【コース番号：C3012-990、C3031-990】

### ★ 雑池茶屋 by かぼちゃわいん

千葉唯一の近代建築として知られる美術館1階の「さや堂ホール」が、展覧会会期中、カフェに变身！仏の慈悲の象徴であり、千葉市の花でもある「蓮」をテーマにした空間で、軽食をお楽しみいただけます。※さや堂ホールでイベントを行う日は、リハーサル等のためカフェを休業させていただきます。

★「仏像半島」展オリジナル顔出しパネルを館内に設置、記念撮影スポットとしてお使いいただけます。実際に光背を背負いながら邪鬼を踏み、四天王像になりきることも！

★「仏像半島」展のためだけのオリジナルグッズをご用意。袖では見られない変わったアイテムも制作中です。乞うご期待！



### INFORMATION

観覧料 一般 1,000円(800円)／大学生 700円(550円)

※小・中・高校生、障害者手帳をお持ちの方とその介護者(1名)は無料

※( )内は前売り、団体20名以上、および市内にお住まいの65歳以上の方の料金

### 前売券

千葉市美術館ミュージアムショップ [3月22日まで]

ローソンチケット [Lコード：36528]

セブンイレブン [セブンコード：022-139]

千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」「都賀駅」

「千城台駅」の窓口 [6月16日まで]

主催：千葉市美術館／読売新聞社／

美術館連絡協議会

協賛：ライオン／清水建設／大日本印刷／

損保ジャパン／日本テレビ放送網

次回展予告「彫刻家・高村光太郎」

2013年6月29日(土)→8月18日(日)

### 交通案内

○JR千葉駅東口より

・徒歩約15分

・バスのりば⑦より大学病院行または南安行にて「中央3丁目」または

「大和橋」下車徒歩約3分

・千葉都市モノレール東行方面行「稲川公園駅」下車徒歩約5分

○京成千葉中央駅東口より：徒歩約10分

○東京方面から車では：京葉道路・東関東自動車道で習志野JCTから水戸方面へ

見栄に下車、国道51号を千葉市街方面へ約3km、広小路交差点近く

※千葉市中央区役所と同じ建物です。

※地下に区役所と共同の駐車場がありますが、満員時にはご不便をおかけすること

ありますので、公共交通機関でのご来館をお願いします。

千葉市美術館 Chiba City Museum of Art

〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8

TEL: 043-221-2311 <http://www.cma-net.jp>

【東部如来立像及び十二神将立像】(千葉市・東明寺) 撮影：小澤忠生/デザイン：谷田幸

房総の美しき仏たち

# 半仏 島像

## 2013.4.16(火) → 6.16(日)

10:00-18:00 (金・土曜日は20:00まで)

※入場受付は閉館30分前まで

休館日◎5.7(火), 5.20(月), 6.3(月)

千葉市美術館  
Chiba City Museum of Art



# 太陽と森と海に



01

## 抱かれし百余体。

房総の地に仏教文化が及んだのは7世紀後半といわれています。以来豊かな大地と海とを背景に多くの寺院が建立され、多彩な造形活動が展開されてきました。本展は、近年見いだされた諸仏や最新の研究成果を視野に入れ、改めて房総の仏教文化の本質を探ろうとするものです。

展示室に集うのは、房総半島各地から選りすぐられた仏像たち。関東の白鳳仏としてきわめて重要な龍角寺の薬師如来坐像に始まり、平安前期の森厳な作例を経て、定朝様や鎌倉様式を受容してゆく流れを追う一方で、「七仏薬師と妙見菩薩」「房総の鑄造仏と上総鑄物師」といったこの地ならではのテーマも検証します。また造立当初の雰囲気再現すべく、小松寺や東明寺、真野寺の諸尊を群像として立体的に配置。いつもの千葉市美術館とはひと味違った、劇的な展示空間を体感していただきます。

03



02

日蓮宗の祖である日蓮は安房国(現在の鴨川市小湊)の出身。以来房総の地は法華の傑僧を数多く輩出しています。本展では「法華の傑僧たち」の一章を設け、日蓮をはじめ日朗や日像、日親らにゆかりの彫刻や絵画を多数紹介。その多くは県外からのお里帰りです。

また房総の仏像が一堂に会するこの機会に、波を影らせた天下一と謳われた江戸時代の彫物大工、初代伊八こと武志伊八郎信由(1751-1824)の作品を特別展示。石堂寺多宝塔の脇間彫刻16面(ほか)をご覧ください。

房総を代表する諸仏のほか、長らく非公開であった秘仏や新出の仏像を数多く含み、房総仏画の優品もあわせた、まさに決定版といってよい内容です。燦々と降り注ぐ陽光と緑深き森、そして豊穡な海一。恵まれた自然に守られ、東国らしい大らかな野趣と意外なほどの洗練を示す房総の仏像たち。その魅力にふれるまたとない機会を、どうぞお見逃しなく!

\* 会期中に展示替を行います。

## その野趣と



04



05



06

© 山の上スタジオ・石川晴弘



07



08



09



10

### ◎ 記念講演会

「房総の仏像―鎌倉時代を中心に―」(事前申込制)

日時: 6月9日(日) 14:00より(13:30開場)

講師: 武笠朗(実践女子大学教授)

場所: 11階講堂/定員150名/聴講無料

### 【往復はがきによる申込方法】

往復はがきに郵便番号、住所、電話番号、氏名、参加人数(2名まで)を明記の上、下記までお申し込みください。(1人1通のお申込まで、応募多数の場合は抽選となります。) ※申込締切5月29日(水)必着  
〒280-8723 千葉市中央区中央3-10-8 千葉市美術館 仏像半島講演会 係

### ◎ 連続シンポジウム

4月20日(土)「仏像に見る房総の造形」

パネリスト: 濱名徳順(宝泉寺)、瀬谷貴之(神奈川県立金沢文庫学芸員)、石川丈夫(鴨川市郷土資料館学芸員)/司会: 馬渡電彦(妙宣寺)

4月27日(土)「お寺コンテンツ〜寺カルチャーから寺院縁起まで〜」

パネリスト: 小杉秀文(勝覚寺)、土本一貴・竹内唯(東京大学文化資源学)、千葉大学デザイン文化計画研究室/司会: 京極勇剛(宝金剛寺)

5月4日(土)「房総が生んだ法華の傑僧たち一日朗、日像、日英、日親一」

パネリスト: 中尾亮(立正大学名誉教授)、齋輪顕量(東京大学大学院人文社会系研究科教授)/司会: 濱名徳順(宝泉寺)

時間: いずれも14:00より(13:30開場)

場所: 11階講堂/先着150名/聴講無料

### ◎ 声明公演

天台宗南総教区研修所「天台声明公演一四重法要一」

日時: 4月21日(日) 15:00より(14:30開場)

曹山太鼓「千響」

日時: 4月28日(日) 14:00より(13:30開場)

真言法喜会「悠久の調べ」

日時: 5月3日(金・祝)、5月26日(日) 14:00より(13:30開場)

天台宗北総仏教青年会+部尊(中国琵琶)+張勇(二胡)

「佛の聲を聞く―天台の声明」

日時: 6月8日(土) 14:00より(13:30開場)、17:00より(16:30開場)

場所: いずれも1階さや堂ホール/先着150名/観覧無料

### ◎ 「Bharatanatyam」/南インド古典舞踊〜ロータスの夢

日時: 5月19日(日) 14:00より(13:30開場)

場所: 1階さや堂ホール/先着150名/観覧無料

出演: 小田切淳子(南インド古典舞踊家)

### ◎ 「妙光寺“おひげのお祖師さま”衣替えセレモニー」

日時: 6月1日(土) 11:00-12:00

場所: 1階さや堂ホール/先着150名/観覧無料

「おひげのお祖師さま」として親しまれている多古町・妙光寺の《日蓮聖人像》(本展出品)。毎年お寺で行われているその更衣式が、特別に美術館を会場に開催されます。

01 《伝七仏薬師如来坐像》平安時代後期[千葉市・東光院] || 02 《藥師如来坐像》飛鳥時代後期[栄町・曹洞寺] || 03 《不動明王立像》平安時代後期[いすみ市・善応寺] || 04 《藥師如来坐像》平安時代後期[銚子市・常灯寺] || 05 《二十八部衆立像及び鬼神・智神像》より 第2(1335)年[南房総市・真野寺] || 06 武志伊八郎信由(初代伊八)作《石堂寺多宝塔脇間彫刻16面》より 文化年間初葉か[南房総市・石堂寺] || 07 《四天王立像のうち成徳天》鎌倉時代後期[山武市・勝覚寺] || 08 《龍騎宮立像》平安時代後期[館山市・小湊寺] || 09 《藥師如来立像》平安時代後期・《十二神将立像》鎌倉時代前期[富津市・東明寺] || 10 《妙見菩薩立像》鎌倉時代後期[東庄町] || 11 佐野野正信筆《日蓮像》室町時代[京都市・本法寺] || 12 《日蓮坐像》鎌倉〜南北朝時代[内日市・北真経寺] ◎ 03・04・05・07・09: 小平忠生撮影

## 洗練にふれる至福。



11



12